



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 寛
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03 (6430) 3400
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）※オンライン開催

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,639	32.5	2,016	36.0	2,087	36.2	1,544	66.2
2023年3月期第2四半期	8,028	10.4	1,482	33.3	1,532	39.0	929	56.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,367百万円 (19.3%) 2023年3月期第2四半期 1,146百万円 (93.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	36.74	-
2023年3月期第2四半期	21.90	-

(注) 2023年3月期及び2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	15,612	11,863	76.0	278.66
2023年3月期	14,461	10,878	75.2	261.53

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,863百万円 2023年3月期 10,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	16.00	16.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	10.8	3,850	19.0	3,850	17.9	2,900	31.6	68.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	46,308,600株	2023年3月期	46,308,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,737,704株	2023年3月期	4,713,594株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	42,023,074株	2023年3月期2Q	42,422,098株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分な注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは、コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーションとして、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する「デジタル・トランスフォーメーション」、新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する「サービス・トランスフォーメーション」、経営プラットフォームを変革する「マネジメント・トランスフォーメーション」を掲げ、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創に取り組んでいます。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、リジェネラティブ&ウェルビーイング領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携により投資先企業の成長および企業価値向上を支援しています。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,639,893千円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

売上原価は、5,678,128千円（前年同四半期比39.2%増）となりました。旺盛な需要に対応し、外注費が増加いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては人員増や対面活動の活発化に伴う諸経費と採用費の増加により、2,945,613千円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

売上高の増加により、売上総利益は1,012,960千円増の4,961,765千円（前年同四半期比25.7%増）、営業利益は533,688千円増の2,016,151千円（前年同四半期比36.0%増）、経常利益は555,253千円増の2,087,665千円（前年同四半期比36.2%増）となりました。

税金等調整前四半期純利益は2,087,528千円（前年同四半期比36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,544,065千円（前年同四半期比66.2%増）となりました。なお、親会社株主に係る四半期包括利益は1,367,004千円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,451,205千円（前年同四半期比29.7%増）、セグメント利益2,966,639千円（前年同四半期比20.3%増）となりました。産業別では運輸、金融、通信、小売、商社、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引しました。

人財採用につきましては、当第2四半期連結累計期間において経験者57名、新卒61名が入社しました。新卒社員の研修は順調に完了し、10月から稼働を開始しました。2023年9月末時点のコンサルタント数は584名となっております。プロジェクト満足度は94ポイントと高い水準を維持しております。

(投資事業)

投資事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高262,850千円（前年同四半期比1,305.1%増）、第2四半期に保有する上場株式の減損処理を行った結果、セグメント損失22,756千円（前年同四半期はセグメント損失148,230千円）となりました。

7月にはリーガルテックサービスを提供するGVA TECH株式会社、太陽光発電事業、GXソリューション事業等を行う株式会社アイ・グリッド・ソリューションズに総額約9億円の新規投資や既存の投資先への追加投資を実施し、9月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約28億円となりました。引き続き積極的な投資活動を推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,612,076千円(前連結会計年度末比1,150,442千円増)となりました。主な要因は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末比935,433千円増)であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は3,749,066千円(前連結会計年度末比165,721千円増)となりました。主な要因は、未払法人税等の増加(前連結会計年度末比357,945千円増)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は11,863,009千円(前連結会計年度末比984,721千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年6月27日の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

また、配当予想につきましては、2023年6月27日に公表いたしました配当予想から修正しております。詳細につきましては、2023年11月2日に公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,093,890	6,186,107
受取手形、売掛金及び契約資産	2,263,554	2,520,387
営業投資有価証券	2,171,591	2,818,168
その他	600,834	598,721
貸倒引当金	△116,122	-
流動資産合計	12,013,748	12,123,384
固定資産		
有形固定資産	253,366	224,144
無形固定資産		
ソフトウェア	400,943	338,196
ソフトウェア仮勘定	34,635	43,820
その他	7,105	6,536
無形固定資産合計	442,685	388,553
投資その他の資産		
投資有価証券	797,759	1,733,192
繰延税金資産	316,670	421,304
その他	637,403	721,496
投資その他の資産合計	1,751,832	2,875,993
固定資産合計	2,447,884	3,488,691
資産合計	14,461,633	15,612,076
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,169	487,455
未払金	842,657	877,464
未払法人税等	339,489	697,435
賞与引当金	-	95,820
株式給付引当金	326,059	458,420
その他	232,954	251,323
流動負債合計	1,978,330	2,867,920
固定負債		
リース債務	5,681	3,287
株式給付引当金	340,542	128,548
役員株式給付引当金	1,106,107	595,224
資産除去債務	86,444	86,444
その他	66,238	67,641
固定負債合計	1,605,014	881,146
負債合計	3,583,345	3,749,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	4,768,396	4,781,572
利益剰余金	6,762,154	7,594,978
自己株式	△3,972,854	△3,657,072
株主資本合計	10,557,696	11,719,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,592	143,530
その他の包括利益累計額合計	320,592	143,530
純資産合計	10,878,288	11,863,009
負債純資産合計	14,461,633	15,612,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,028,773	10,639,893
売上原価	4,079,968	5,678,128
売上総利益	3,948,804	4,961,765
販売費及び一般管理費	2,466,341	2,945,613
営業利益	1,482,463	2,016,151
営業外収益		
受取利息	1,999	1,606
為替差益	9,040	5,913
講演料等収入	30,915	44,773
協賛金収入	10,335	21,977
雑収入	4,985	7,754
営業外収益合計	57,276	82,025
営業外費用		
支払利息	89	67
控除対象外消費税等	4,838	3,453
投資有価証券運用損	-	5,964
雑損失	2,399	1,027
営業外費用合計	7,328	10,512
経常利益	1,532,411	2,087,665
特別損失		
固定資産売却損	-	81
固定資産除却損	-	56
特別損失合計	-	137
税金等調整前四半期純利益	1,532,411	2,087,528
法人税、住民税及び事業税	508,464	613,718
法人税等調整額	94,806	△70,255
法人税等合計	603,271	543,462
四半期純利益	929,139	1,544,065
親会社株主に帰属する四半期純利益	929,139	1,544,065

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	929,139	1,544,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	216,887	△177,061
その他の包括利益合計	216,887	△177,061
四半期包括利益	1,146,027	1,367,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,146,027	1,367,004

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,532,411	2,087,528
減価償却費	98,017	109,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△116,122
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	95,820
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	173,578	246,426
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	66,337	26,237
受取利息及び受取配当金	△1,999	△1,606
支払利息	89	67
為替差損益 (△は益)	△9,040	△5,913
固定資産売却損益 (△は益)	—	81
固定資産除却損	—	56
投資有価証券運用損益 (△は益)	—	5,964
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△184,629	△969,406
売上債権の増減額 (△は増加)	221,076	△256,832
前払費用の増減額 (△は増加)	158,210	34,804
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,442	250,286
未払金の増減額 (△は減少)	△605,665	32,994
その他	10,154	188,626
小計	1,429,099	1,728,011
利息及び配当金の受取額	2,106	1,606
利息の支払額	△89	△67
法人税等の支払額	△842,206	△290,185
法人税等の還付額	—	5,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,910	1,444,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,086	△814
無形固定資産の取得による支出	△42,013	△13,843
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△847,050
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
その他の支出	△31,560	△83,247
その他の収入	8,408	7,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,250	△937,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,734	△2,394
自己株式の取得による支出	△999,565	△708,367
配当金の支払額	△592,101	△709,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,594,401	△1,420,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,040	5,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,115,701	△907,782
現金及び現金同等物の期首残高	7,721,528	7,093,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,605,826	6,186,107

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月9日 取締役会決議	普通株式	591,152	26	2022年3月31日	2022年6月6日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金39,807千円が含まれています。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

2022年6月24日開催の第14期定時株主総会決議に基づき無償減資を行い、2022年7月29日を効力発生日として資本金1,626,881千円及び資本準備金1,626,881千円をそれぞれ減少させ、その他資本剰余金に振替えております。これを主な要因として、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,000,000千円、資本準備金が1,250,000千円、その他資本剰余金が3,534,470千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月9日 取締役会決議	普通株式	711,241	16	2023年3月31日	2023年6月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金45,721千円が含まれています。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号2022年8月26日。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更による影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,022,127	6,646	8,028,773	—	8,028,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,971	12,060	50,031	△50,031	—
計	8,060,098	18,706	8,078,804	△50,031	8,028,773
セグメント利益又は 損失(△)	2,465,854	△148,230	2,317,624	△835,160	1,482,463

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等835,160千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	コンサルティング 事業	投資事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,410,192	229,700	10,639,893	—	10,639,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,012	33,150	74,162	△74,162	—
計	10,451,205	262,850	10,714,055	△74,162	10,639,893
セグメント利益又は 損失(△)	2,966,639	△22,756	2,943,883	△927,731	2,016,151

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用等927,731千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。